

ヤマトシジミ

一般的に食用にされるのは、本種です。

海水と淡水が混ざる汽水域に生息する二枚貝で、殻の幅は3 cm程度まで成長し、殻の表面は茶褐色です。

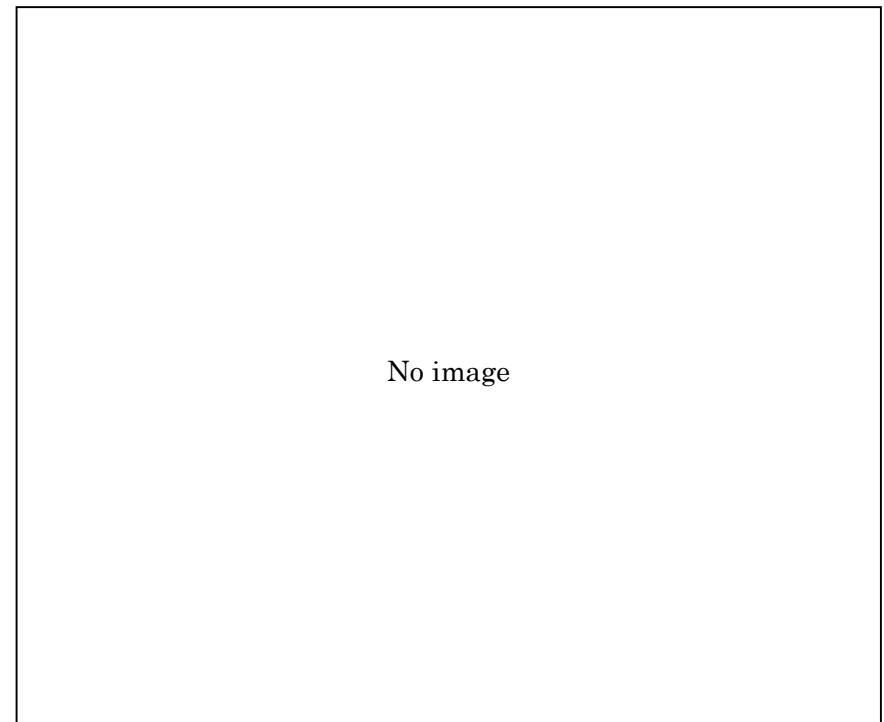
河川の河口域などに生息し、砂や泥の混じったところを好みます。

食べ物は、水中にある藻類や底質の有機物などを、エラで濾(こ)して食べます。

繁殖期は6月～9月で、オスは精子、メスは卵を放出し、水中で受精します。その後、受精した卵から幼生が孵(かえ)り水中を漂い、稚貝(ちがい)へと変態します。

富士市での現状

田子江川下流で確認しました。



ヤマトシジミを確認したメッシュ

